

第4章

時制

第1節 時制の概要

1. 時制の種類

「**時制**」とは、文や節の「話の内容」が「文の発信者（話し手・書き手）」から見て「**いつのことであるか**」を表したものです。英語における「時制」は「**述語動詞の形**」あるいは「**述部の形**」によって表現されます。

英語の時制には「**現在時制**」と「**過去時制**」の2つがあります。「時の流れ」というものをイメージし、「現在」と「過去」と「未来」を思い浮かべた時に、「現在」のことを表す場合には「**現在時制**」が使われ、「過去」のことを表す場合には「**過去時制**」が使われる、と理解しておくとうまいでしょう。「**現在時制**」は基本的には「**現在形**」という形で表現され、「**過去時制**」は基本的には「**過去形**」という形で表現されます。なお、「**未来時制**」というものも意味的には存在し得るのですが、英語では、動詞の変化の中に「**未来形**」という形が存在しません。従って本書では、「**未来時制**」というものは扱わず、原則的に「**現在時制**」と「**過去時制**」の2つのみを扱うこととします。

「**現在時制**」を表す「**現在形**」、および「**過去時制**」を表す「**過去形**」に加え、それぞれ「**進行形**」と「**完了形**」という形を組み合わせると、英語の時制のパターンは以下の8通りとなります。

(1) 現在時制

- | | |
|-------------|--|
| (a) 現在形 | I wash my car every week. 「私は毎週私の車を <u>洗う</u> 。」 |
| (b) 現在進行形 | I am washing my car now. 「私は今私の車を <u>洗っている</u> 。」 |
| (c) 現在完了 | I have washed my car. 「私は私の車を <u>洗ってある</u> 。」 |
| (d) 現在完了進行形 | I have been washing my car. 「私は私の車を <u>洗い続けている</u> 。」 |

(2) 過去時制

- | | |
|-------------|--|
| (a) 過去形 | I washed my car yesterday. 「私は昨日私の車を <u>洗った</u> 。」 |
| (b) 過去進行形 | I was washing my car then. 「私はその時私の車を <u>洗っていた</u> 。」 |
| (c) 過去完了 | I had washed my car. 「私は私の車を <u>洗ってあった</u> 。」 |
| (d) 過去完了進行形 | I had been washing my car. 「私は私の車を <u>洗い続けていた</u> 。」 |

第2節 現在形と過去形

1. 現在形

動詞の「**現在形**」は、文や節の「述語動詞」として機能し、その文や節の「話の内容」が「現在」であることを表します。「現在形」は主に以下の5つの場合に使われます。

(1) 現在形1: 「今の時刻を含んでいる現在」における「状態」や「存在」を表す場合

英語の世界の動詞は、「動作を表す動詞」と「状態を表す動詞」と「存在を表す動詞」の3つに大きく分類されます。このうち、「状態を表す動詞」と「存在を表す動詞」が「現在形」となった場合は「今の時刻を含んでいる現在」における「状態」や「存在」を表します。「動作を表す動詞」が「現在形」となった場合は「今の時刻を含んでいない現在」における「動作」を表す、という点に注意しましょう。

なお、「状態を表す動詞」が「現在形」になっている場合、日本語では「～している」という訳し方になるのが一般的ですが、これは決して「現在進行形」ではなく、あくまでも「現在形」であり、「現時点における状態」を表しているということを理解しましょう。

(★『「現在形」の表現」→ P. 108 参照。)

(★「動詞の意味上の分類」→ P. 73 参照。)

例1: Their son **has** a lot of books. 「彼らの息子はたくさんの本を持っている。」

(「has」は「状態を表す動詞」の現在形であり、この文では「今の時刻を含んでいる現在」における「状態」を表している。日本語から英語にする場合は「持っている」という表現に引きずられて「is having」という現在進行形にしてはいけません。)

例2: Their son **is** in Hong Kong. 「彼らの息子は香港にいる。」

(「is」は「存在を表す動詞」の現在形であり、この文では「今の時刻を含んでいる現在」における「存在」を表している。)

(2) 現在形2: 「普段の日常」における「動作」を表す場合

前述のように、英語の動詞は「動作を表す動詞」と「状態を表す動詞」と「存在を表す動詞」の3つに分類されます。このうち、「動作を表す動詞」が「現在形」となった場合、それは「今の時刻を含んでいる現在」ではなく「今の時刻を含んでいない現在」、つまり「**普段の日常**」における「動作」を表します。「普段の日常」とはつまり、「今の時刻」を中心にして「過去」と「未来」に時間の幅を広げたものであると言えます。

そもそも「動作」というものは、「ある瞬間に始まり、物事に動きや変化をもたらし、そしてある瞬間に終わるまでの一連の流れ」のことです。「動作を表す動詞」が「現在形」となると、その動作の「一連の流れ」を「1回」として数え、それを「日常的に何度も繰り返す」ということを表すようになります。例えば、「drink coffee (コーヒーを飲む)」

という動作について考えてみると、この動作を「1回」行う場合にかかる時間は、「数分」から「数十分」といったところでしょう。これが「現在形」となった場合には、「今の時刻を含んでいない現在」について述べることになり、「普段、日常的に、コーヒーを飲む」という動作（1回につき「数分」から「数十分」かかる動作）を何度も繰り返す」ということを表します。「I drink coffee.」という文ならば、「私は普段、コーヒーを飲む。」ということが表され、つまりは「私にはコーヒーを飲む習慣がある。」や「私はコーヒーを飲むような人間である。」ということが表されるのです。

このような文では、「every day (毎日)」や「sometimes (時々)」など、「日常」を表す「修飾部分 (M)」が伴われたり、あるいは文脈から「普段の日常の動作」であることがほのめかされます。また「普段の日常の動作」というのは、例えば「時刻表」などに従って毎日運行される交通機関についても当てはまります。「今から出発するバス」のように、一見「未来」の出来事について述べるような場合でも、毎日の時刻表に従うならば「現在形」で表すのが普通です。

なお、「動作を表す動詞」を使い、「今の時刻を含んでいる現在」について述べたい場合には、「現在形」ではなく「現在進行形」の形にしなくてはなりません。

例1: She **runs** every morning. 「彼女は毎朝走る。」

（「runs」は「動作を表す動詞」の現在形であり、この文では「今の時刻を含んでいない現在」、つまり「普段の日常」における「動作」を表している。また、「日常」を表す修飾部分として「every morning」が伴われている。この修飾部分が伴わず「She runs. (彼女は走る。)」となっている文は、よほど文脈から「日常」の話をしていることが明確な場合を除いて、とても不自然な文となる。）

例2: I **teach** math. 「私は数学を教える。」

（「teach」は「動作を表す動詞」の現在形であり、この文では「今の時刻を含んでいない現在」、つまり「普段の日常」における「動作」を表している。言い換えるならば「私は日頃数学を教える。」となり、ひいては「私の職業は数学の教師である。」ということになる。「今の時刻を含んでいる現在」について述べたい場合は、「I **am teaching** math.」のように「現在進行形」にする必要がある。）

例3: The bus **leaves** in ten minutes. 「そのバスは10分後に出発します。」

（「leaves」は「動作を表す動詞」の現在形であり、この文では「今の時刻を含んでいない現在」、つまり「普段の日常」における「動作」を表している。「10分後に」という未来のことが述べられているが、時刻表など「日常」のことを指して「現在形」が使われている。これが不定期のバスだったならば「The bus will leave...」や「The bus is leaving...」などの「未来」の表現となるのが普通。）

第4節 完了形

1. 完了形とは

時の流れにおいて、「2つの異なる時点」を結びつけた上で、結局は「**未来に近い方の時点**」の事柄についてそれとなく述べる表現の形のことを「**完了形**」と言います。

例えば、「過去の1時点」において、誰かが「窓を開けた」とします。「窓を開けた」という行為自体は「過去の1時点」のことですが、そのことによって、仮に「現在」もそのまま「窓が開いている」とします。「窓を開けた」という過去の事柄で表現しながらも、「現在、窓が開いている」のように、結局は「現在」のことをそれとなく述べたい場合に、英語では「完了形」という形が使われるのです。

このように「完了形」は「2つの異なる時点」を結びつけたような表現となりますが、これに対し、普通の「現在形」と「過去形」はどちらも「1つの時点」のみを表します。「現在形」は「現在という1時点」のみを表し、「過去形」は「過去の1時点」のみを表します。

(★『現在形』の表現 → P. 108 参照。)

(★『過去形』の表現 → P. 109 参照。)

2. 完了形の種類

「完了形」には「**現在完了**」と「**過去完了**」の2つがあります。完了形が示す「2つの時点」のうち、「未来に近い方の時点」が「現在」であったならば「現在完了」となり、また「未来に近い方の時点」が「過去のある1時点」であったならば「過去完了」となります。

また、「現在完了」と「過去完了」には、それぞれいくつかの異なる意味があります。

(★「現在完了の意味」 → P. 123 参照。)

(★「過去完了の意味」 → P. 127 参照。)

